

# 新高通信



第 20 号

秋田県立新屋高等学校

## 1年間を振り返って

校長 矢田部 晃

この一年を振り返りますと、生活面においては地域懇談会等で地域の方々からお褒めの言葉をいただいております。もちろん心配な点が全くないわけではありません。僅かですが、服装・頭髪・交通マナーで指導を受けた人もいました。しかし、概ね大変立派であったと思います。

学業面ではどうでしょうか。残念ながら、家庭学習の時間は非常に短いものとなっています。とはいえ、「潜在能力の開発」に成果をあげている仲間も沢山います。何事も、遅すぎるということはありません。目標を持って取り組んでももらいたいと思います。

部活動ではやはり弓道部男子個人インターハイ優勝が大きく輝いていました。後輩の皆さんも「やればできる」を胸に、今後も頑張ってくださいと思います。

今年の卒業生は、進路実現に向け真剣に取り組まれました。特に就職に関しては、100%の達成状況でした。在校生諸君も、自分の希望する進路実現を目指し、この春休みには一層の学力向上を目指してください。

## 第 25 回卒業式挙行される

3月1日(火)、本校体育館において第25回卒業証書授与式が挙行されました。

代表として卒業証書を受け取ったのは、A組の齋藤昂樹君。また、前生徒会長の柴田将幸君は、答辞の中で「この3年間で得たものはそれぞれ違うが、唯一共通しているのは『周りの人に支えられながら成長している』ことだ」「困難が立ちは大かっても、一人ではないことを思い出し、道を切り開いていく」と述べました。



式の後、各教室で最後のLHRを終えた卒業生191名は、在校生から花束やプレゼントを受け取ると、期待と喜びに胸を躍らせながら通い慣れた学び舎を巣立っていきました。

## 努力の結実



卒業証書授与式に先立ち、2月28日(月)に行われた表彰式では、学校賞1名・皆勤賞14名・特別活動賞ほか54名と、多数の3年生が表彰を受けました。

このうち、2010沖縄インターハイで全国優勝を成し遂げた鎌田寿也君には、「学校賞」として大きな額入りの表彰状が授与されました。受賞生徒たちは、3年間の努力の結実に思いを馳せると同時に、支えてくださった人々への感謝の念を新たにしていました。

## 各種研修報告(後期) ~研修部より~

10月25日(月)~29日(金)に2回目の互見授業を行いました。また11月2日の指導主事訪問に合わせて、『生徒とのコミュニケーションを生かした授業の実践』という共通テーマのもと、授業研修会を実施しました。全職員を国語、情報、英語の3つのグループに分け、5校時に研究授業、6校時に研修会を行い、それぞれの授業に関して意見を出し合いました。課題として授業の中で生徒の考える場を増やすこと、生徒の能力を伸ばす工夫が必要であること等があげられました。

先生達の一年間の研修の記録として、3月末に研修集録を発行予定です。



吹雪の中の歓声  
~合格発表~

## 進路決定状況

～進路指導部より～

景気の落ち込みが回復しない情勢のなか、受験生個々の進路に向けた取り組みには、厳しい判断が求められました。

就職では、県内求人相変わらず少なく、県外求人も昨年より減少しました。本校生は、県内企業を希望する者が多く、市内の高校生とわずかな就職先をめぐり、競い合いになりました。多くの資格をもつ実業校や、市内の普通校の生徒が相手となり苦戦しました。しかし、何度でも受験に挑戦する姿勢や、地元企業の求人支援により、就職希望22名全員が内定しました。

進学では、「文低理高」となり文系よりも理系に人気（倍率）がありました。学校種を問わず、工学技術系・医療看護系・栄養系などが難関となりました。また、国公立志向、地元志向が強まりました。進学先を秋田県内に絞り込み、国公立大学を目指す地元受験生が増えました。例にあげると、秋田県立大学のシステム科学技術学部機械知能システム学科は、前期の定員46に対して志願者330人で7.2倍でした（昨年3.0倍）。3月23日までの決定状況は次の通りです。



秋田大学の合格報告に訪れて、ダルマに目入れをする卒業生

### 平成22年度 進路志望状況と決定状況 平成23年3月23日 現在

進路状況	合計	国公立	私立	大	短大	専門校	進学未定	民間	公務員	就職未定	全く未定
1年生 2月進路志望	198	72	15	10	55	23	4	8	2	9	
2年生 2月進路志望	198	81	20	18	54	5	19	1	0	0	
3年生 11月進路志望	191	47	42	20	59	0	20	3	0	0	
3年生決定状況	191	7	51	23	63	25	22	0	0	0	

## 各部の成績

- ◎青少年読書感想文秋田県コンクール 入選 佐藤利歩  
地区佳作 清水友子  
地区佳作 丸山めぐみ
- ◎吹奏楽 全日本アンサンブルコンテスト秋田県大会 金管8重奏 金賞 東北大会出場  
中央地区ソロコンテスト 最優秀賞 小松紀之  
中央地区ソロコンテスト 金賞 小松紀之  
中央地区ソロコンテスト 金賞 宮崎彩香  
全日本アンサンブルコンテスト東北大会 金管8重奏 金賞
- ◎写真 よみうり高校生写真コンテスト2011 三席「冷笑」 伊藤禎希

### 学校生活に関する調査「悩みアンケート」結果について ～保健教育相談部より～

去る2月18日～22日、今年度3回目の学校生活に関する調査（悩みアンケート）が行われました。これは学校生活での悩みや心配ごと等がないか実態を把握するために実施しました。また、いじめや自殺等を未然に防ぐ抑止効果もねらってアンケート調査をしました。

結果、「特に不安や悩みがない」生徒は約6割で前回とほぼ同数になっています。主な悩みは、勉強と進路のことで、1回目と比較して約半数に減少し、生徒の努力の変化とともに、先生方の指導の成果が見られる結果でした。

「いじめられている」生徒が2名おり再調査をした結果おりませんでした。

アンケート項目	1回	2回	3回	動向
1 勉強に集中できない。	57	45	38	↓
2 勉強についていけない。	67	39	33	↓
3 先生と折り合いが良くない。	10	7	9	↑
4 友人がいない。	7	0	2	↑
5 友人との間にトラブルがある。	1	1	1	→
6 いじめられている。	1	0	2	↑
7 ケータイを使用していないやがらせがある。		0	0	
8 ケータイメールで(不当請求など)を抱えている。		2	0	↓
9 クラスの人間関係が良くない。	9	3	6	↑
10 異性との折り合いが悪い。	10	0	1	↑
11 部活の顧問と折り合いが悪い。	13	21	15	↓
12 部活の人と折り合いが悪い。	6	4	11	↑
13 部活をやめたいと思っている。	6	12	7	↓
14 父と折り合いが悪い。	13	3	1	↓
15 母と折り合いが悪い。	5	2	0	↓
16 兄弟(姉妹)と折り合いが悪い。	9	2	1	↓
17 家庭の経済的不安が大きい。	19	22	13	↓
18 親が自分の気持ちをわかってくれない。	10	5	6	↑
19 進路が決まっていない。	70	48	30	↓
20 将来何をしようかわからない。	64	46	32	↓
21 体調が悪い。	29	17	24	↑
22 特に不安や悩みはない。	174	203	202	↓
不安や悩みの合計数	406	279	232	↓